

Society **5.0** 時代の ヘルスケア

概要

2018年 3月 20日

一般社団法人 日本経済団体連合会

目次

● はじめに p.2

Ⅰ コンセプト p.3

Ⅱ アクションプラン p.6

● おわりに p.14

はじめに

**超高齢社会を迎え、様々な課題が山積
いかに質の高い保健医療システムを維持しつつ、
直面する課題を解決するか世界中が注目**

**「人中心の社会」、人生100年時代を迎えるなか、
個人の健康寿命を延伸し、活力を持って暮らすための
「Society 5.0時代のヘルスケア」を検討**

**これまで治せなかった病気の治療や予防を行い、
国民、ひいては人類の健康、SDGsの達成に寄与
日本発で世界の課題解決に貢献する新しいモデルに**

データ化される個人

ITの発展を背景として人間の身体、その生理機能から行動までがデータ化される。その膨大なデータの活用はさまざまな価値を生む



進歩するバイオテクノロジー

生命を時間的、空間的な観点からより精緻に観察可能になる。ITの活用で、生命を複雑な系、統合的なシステムとして捉えた解析も可能になる

Society 4.0

病気の治癒

画一的な治療

医療関係者中心

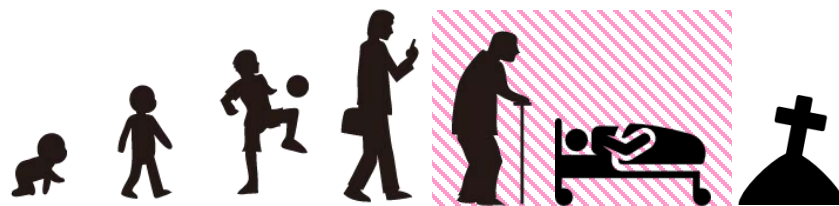
Society 5.0時代のヘルスケア

未病ケア・予防

個別化

個人の主体的な関与

平均集団への画一的な治療

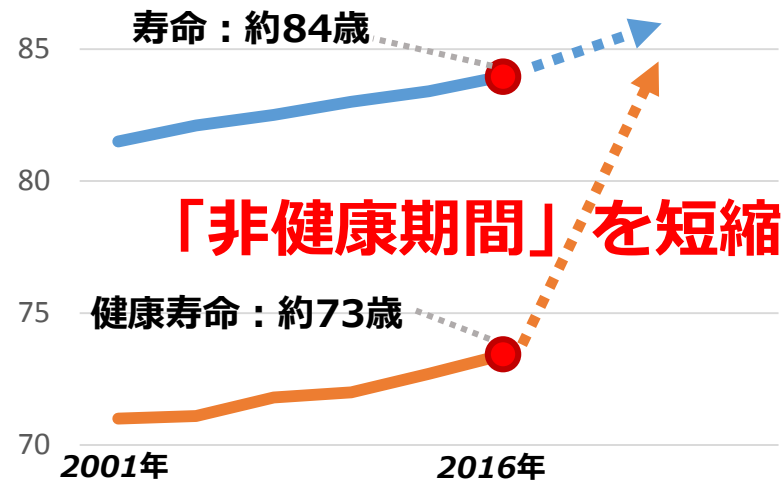


「ヘルスケア」の範囲が拡大
健康に生活できる期間も長く

個別化へ



- ✓ 寿命とともに健康寿命を延伸
- ✓ 生活習慣の管理や長期観察が必要ながん、心疾患、精神疾患等への対応をライフコースに亘るヘルスケアで実施



(出典) 厚生労働省「簡易生命表」、「国民生活基礎調査」ほか

Quality of Lifeの向上

- ✓ 疾病の発生と重症化を最小限に留め、全体として医療費を適正化
- ✓ 日本で世界に先んじた成功事例を示し、社会システムとして海外展開をはかり、成長産業として育成

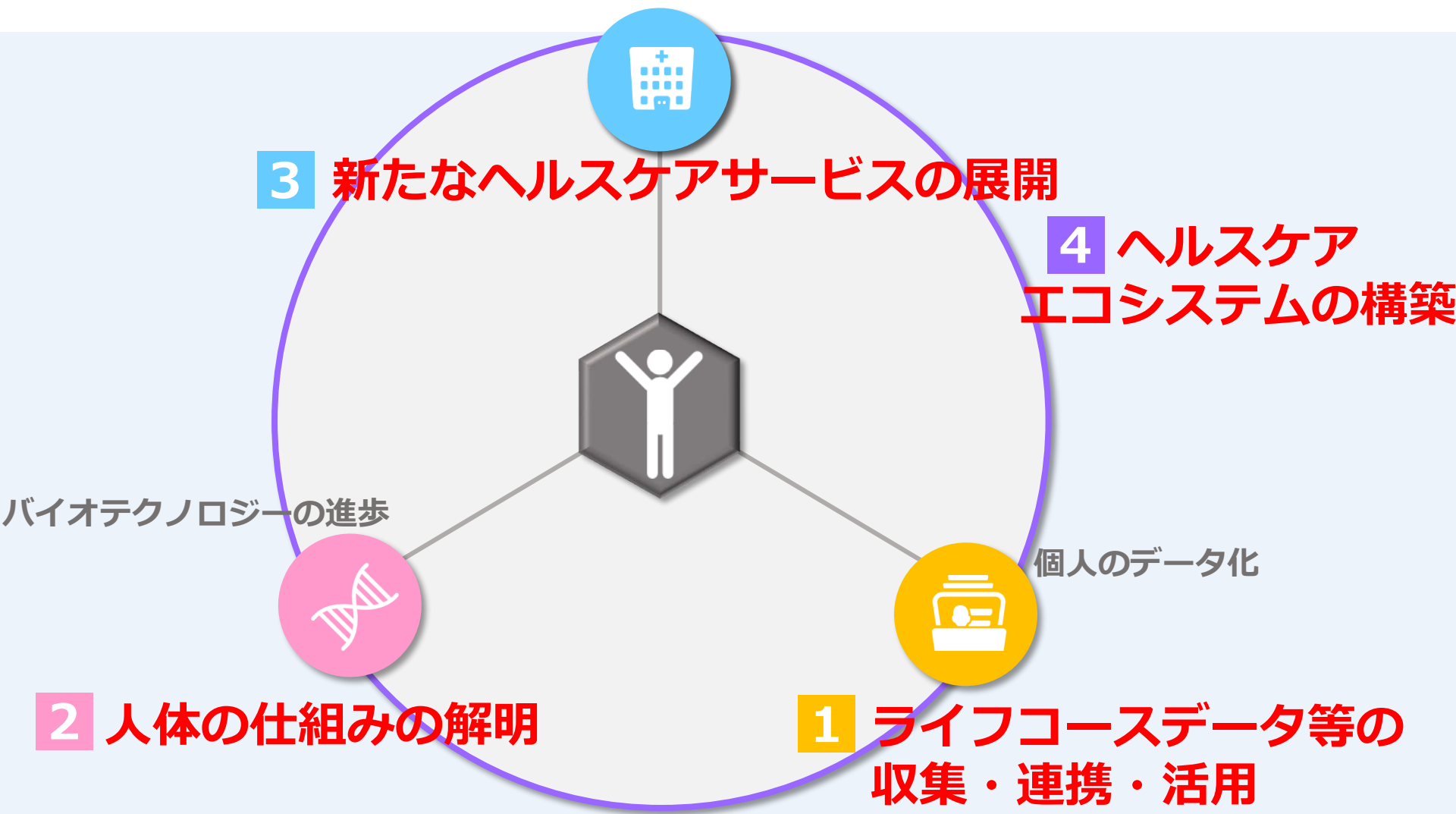
健康寿命の延伸

	国内市場	海外市場
2013年	16兆円	163兆円
2020年	26兆円	311兆円
2030年	37兆円	525兆円

(出典) 「日本再興戦略」

Quality of Societyの向上

ヘルスケアの成長産業化



1 ライフコースデータ等の収集・連携・活用

ゲノム・オミックスデータ
母子手帳

活動・健康データ

健診・特定健診データ

医療データ

介護データ

リビングウィル



収集

ゲノム検査の普及、検診等の検査項目の充実
ウェアラブルデバイスの活用
医療・介護情報の電子化、標準化

連携

個人のデータをつなぐIDの整備
PDSとメディカルブロックチェーン
EHR、PHRの整備

活用

保健医療データプラットフォームの整備
NDBのオープンデータ化、民間利用拡大
次世代医療基盤法

コホート研究の推進

東北メディカル・メガバンク計画の継続

新たなバイオマーカーの探索と解析技術

マイクロバイオーーム研究の推進

例 弘前大学COI 革新的「健やか力」創造拠点

企業、大学、研究開発法人の参画のもと、大規模な健診ビッグデータを活用した予防法の研究やビジネス化をはかり、青森県の課題解決を目指すプロジェクト



*コホート研究: 特定の集団に属する人々を対象に、長期間にわたって健康状態や疾患の要因との関係を調査する研究

*マイクロバイオーーム研究: 人体に生息する微生物と疾患の関係等の解明を行う研究

次世代医療

個別化医療、再生医療等の高度医療や、デジタル治療、リキッドバイオプシー検査等の新しい医療を提供

Society 5.0時代のヘルスケア

総合ヘルスケアサービス

民間企業と地方公共団体、病院等が連携し、個人の健康づくりから未病への対応、予防等をサポートするサービスを提供

深化

範囲拡大

*デジタル治療: スマートフォンのアプリ等を使った依存症治療等

*リキッドバイオプシー検査: 血液等に存在するわずかながん遺伝子等を検出し診断を行う検査

① 生体認証で管理するPDS

◇ 本人の同意の下、PDSにさまざまなデータを登録、活用

② 食事のリコメンデーション

◇ 栄養データベースを構築。個人の状態にあわせた食事プランの立案

③ 遠隔見守りサービス

◇ 健康時、緊急時の見守りを実施。医療機関とも連携した対応を実施

④ パーソナライズヘルスケアプランの立案

◇ PDSに登録されたデータをもとに、治療計画、介護ケアプランを立案

⑤ 健康改善インセンティブ

◇ 健康改善を行った方に対し会費やサービス費用の値引きを実施

⑥ ヘルスケアサービスの海外展開

◇ 高齢化が進むアジアを中心に展開。産業創出、現地の医療改善に貢献

⑦ 心身のサポートや精神的ケア

◇ 仮想会話型エージェントを活用し心身のサポートや精神的ケアを実施

①個別化医療

- ◇ ゲノム診断、治療の推進。AI等を活用した創薬支援

②再生医療

- ◇ iPS細胞、ES細胞等を含めた幅広い振興

③診断支援

- ◇ 医師の診断支援、画像診断支援、リキッドバイオプシー検査

④治療支援

- ◇ 先端治療機器の開発、デジタル療法の推進

⑤介護支援

- ◇ 介護施設のICT化、介護自動化の研究、認知症への対応

⑥先端技術と倫理

- ◇ バイオセキュリティ、ゲノム編集、人工知能

(1) オープンイノベーションの推進

- ◇ 医療分野と他分野の連携促進

(2) 保健医療システムに係る制度のあり方の検討

- ◇ 地域主体の機能分化の推進

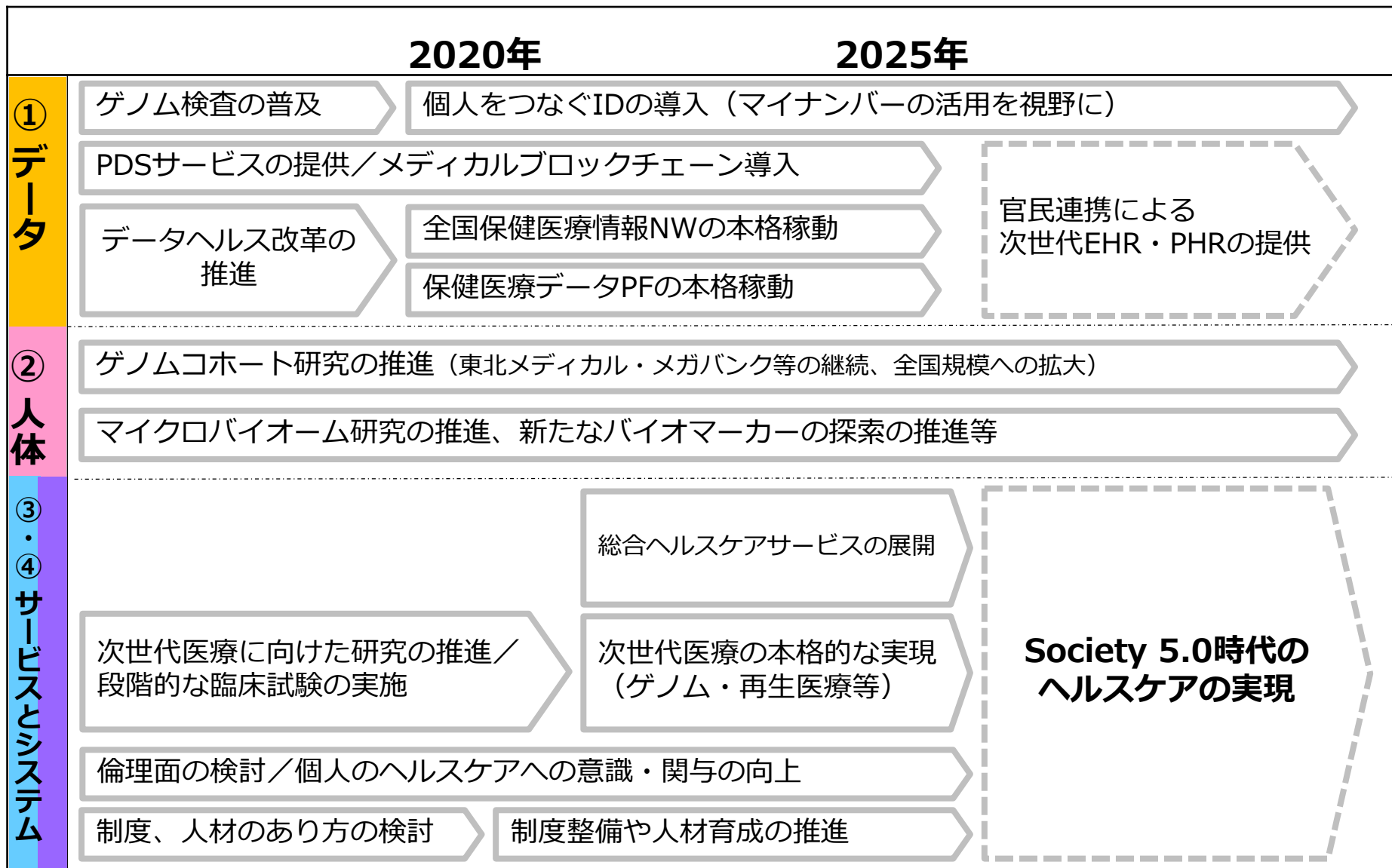
(3) エコシステムを支える人材育成

- ◇ 医師の新たな学びの機会の検討、個人のリテラシー向上

(4) 政府の司令塔連携、省庁連携の強化

- ◇ CSTIと健康・医療戦略推進本部の連携

(参考) ロードマップ



おわりに

**Society 5.0は「人中心の社会」
「ヘルスケア」は先端技術の活用による
メリットが最も多く存在する領域のひとつ**

**超高齢社会の課題に直面するなか、
産業界としても蓄積したノウハウを活かし、
プライバシーやセキュリティに配慮しつつ、
ヘルスケアに関与し、新しいエコシステムを構築**

**今回の提言を契機として、産学官医、国民の間で、
議論が深まることを期待**

Keidanren

Policy & Action